患者さんパンフレット

独立行政法人 国立病院機構 四国がんセンター



私たち医療スタッフは

- I 入院や手術に対する不安を軽減し、最良の状態で 治療が受けられるようにお手伝いいたします
- Ⅱ 手術後の苦痛を軽減し、合併症を起こさず 順調に回復され安心して退院を迎えられるよう お手伝いいたします



中心静脈カテーテルポート造設を 受けられる方へ

さま

担当医

受け持ち看護師

ダイアリー

このパンフレットには、 当院での標準的な治療や日常生活で注意していただきたい ポイントなどを記載しています

また、日々の目標として**患者さんご自身の目標**をかかげ、さらによりよい状態で 退院を迎えられるよう**医療スタッフの目標**もあげています

入院期間は約3日を予定です

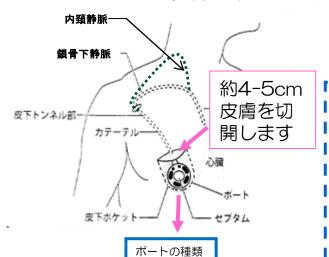
処置後の経過は、個人差があり、体の状態によっては予定どおりにすすまないこと もありますが、その都度対応していきますのでご安心ください

私たち医療スタッフは、これからの入院生活が不安なく送られるようにサポート させていただきます



中心静脈カテーテルポート留置

鎖骨下静脈法、内頚静脈法について







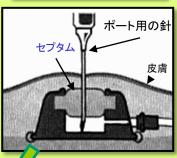
オルフィスCVキット 大きさ 25mm 採血不可タイプ

中心静脈から点滴を行う方法のひとつです。

腕の血管が脆い、細くてなかなか入らない、何回も針を刺されるのがつらい・・・など 点滴時の針の挿入に苦痛があったり、抗が ん剤が皮下にもれるような危険が高い方に お勧めできます。

- ✓カテーテルポートの埋め込みは皮下の局所 麻酔にて行います。30-60分程度の手術です。
- ✓ポート留置後は日常生活に制限はほとんどありません。

点滴治療時の様子





①皮下にあるポートのセプタム部分 へ皮膚の上から針を刺します。



②液の通り具合を確認したあと点滴を 開始します。針を刺した周囲をテープ で固定します。

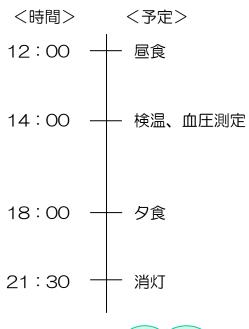
ポート造設前日(入院日)





今日の目標

・入院生活、ポート造設について医療スタッフの説明が 理解できる



眠れないときや不安なときは 安定剤をお渡ししますので 看護師にお知らせください 〈必要物品〉

・特にありません

〈説明〉

- 医師よりポート造設について説明があります (入院前に外来で説明があった方は不要です)
- 説明を聞いた後、納得し同意できれば同意書に サインをして看護師にお渡しください
- わからないことやもう少し詳しく説明を聞きたいこと などがありましたら、遠慮なくお尋ねください

〈お薬〉

- 他の病院で処方された薬については、一度お預かりして 医師に確認御、続けるか、中止するかをお伝えします
- ・血液をサラサラにするお薬を飲んでいる方は、中止日を教えてください

〈食事〉

- 食物アレルギーのある方は医療スタッフにお知らせください
- 特に制限はありません
- 基礎疾患(糖尿病、高血圧等)がある方は、治療食と なる場合があります

〈清潔〉

• ポート造設前日は入浴もしくはシャワー浴をしましょう

MEMO

気になることや症状など書き留めておきましょう

医療スタッフの目標

• 処置の準備をすすめられるよう支援します



ポート造設当日(処置前)





処置前の目標

予定どおりに処置を受けることができる

<時間> <予定>

6:00 — 起床

7:30 — 朝食

10:00 → 検温、血圧測定

12:00 — 昼食

14:OO → 検温、血圧測定

ポート造設の時間は医師や看護師がお伝えします

ポート造設の前に点滴があります トイレに行っておきましょう 検温、血圧測定

術衣に着替えます

看護師と一緒に歩いて2階のX線TV室(Hブロック)まで行きます

※身につけている金属類などを病室で外してください

(眼鏡、指輪、ネックレス、ピアス、ヘアピン、 時計、コンタクトレンズ、義歯など)

- ※義歯がある方は、水の入った義歯用の容器を準備し、保管してください
- ※貴重品は、セーフティーボックスに保管してください
- ※眼鏡をかけて行く場合は、眼鏡ケースをご準備ください

MEMO

気になることや症状など書き留めておきましょう

医療スタッフの目標

• 予定どおりに処置が受けられるよう支援します



ポート造設当日(処置後)





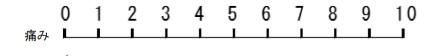
処置後の目標

痛みや苦痛を我慢せず、医療者に伝えることができる

手術後の痛みについて

手術後の痛みについては、痛みの程度を看護師が数字でお聞きします(NRS)数字での表現が難しいときは、フェイススケールでお答えください

1) NRS



全く痛くない

これ以上耐えられないほど ひどい痛み

2) フェイススケール



2



(%)



0 痛みがない

Z 少しだけ 痛い

4 もう少し 痛い

6 もっと痛い

8 かない痛い

10 もっとも 痛い

がん疼痛コントロールマニュアル参照

ポート造設後

処置が終わりましたら、看護師が車いすでお迎えに行きます レントゲン撮影後に病室に戻ります

今回埋め込んだポートの種類を 示したカードをお渡しします カードは大切に保管し、医療機関に かかる際に必要になりますので、 大切に取り扱ってください

医療スタッフの目標

・ 処置後の合併症の早期発見に努めます



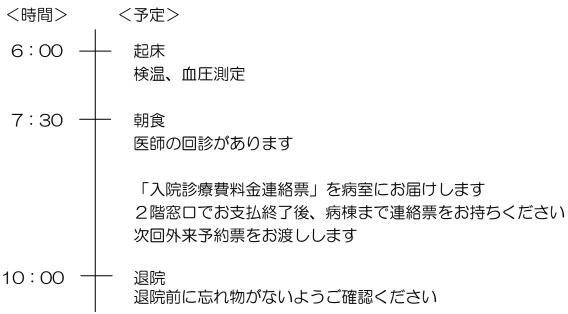
ポート造設後1日目(退院日)





今日の目標

• 退院後の日常生活について理解できる



ポート造設後続けて抗がん剤治療を行う場合は、抗がん剤治療終了後退院となります 退院日は看護師がお知らせします

次回外来受診は

月日()時の予定です

MEMO

気になることや症状など書き留めておきましょう

医療スタッフの目標

・ 退院後の注意点を理解し、退院できるよう支援します



ポート造設後の日常生活について

■活動

日常生活に制限はありません スポーツ、マッサージ、リハビリなどもできます 皮膚が傷つく摩擦は避けましょう



シートベルトなどが当たる場合は、タオルを当てるなどして直接皮膚の刺激が ないように注意しましょう

■ガーゼについて

ポート造設48時間後、ガーゼをとります

■抜糸について

抜糸は基本的には一週間後ですが、外来日によっても異なりますので、主治医に ご確認ください

続けて入院される方は、入院中に抜糸になることもあります

■入浴

翌日からシャワー浴ができます

ガーゼがある間は、ガーゼがぬれないように注意しましょう

抜糸後は、浴槽につかることができます

入浴時は、傷口が腫れたり血が出たり、熱をもっていないかを確認しましょう



■検査について

MRI

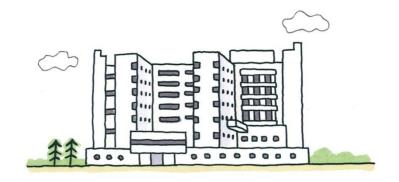
現在使用されているCVポートは、3テスラまでのMRI対応となっていますので 検査に支障はありません

マンモグラフィー

ポートが胸に入っている場合は、検査によるポート破損の危険性が否定できない ため、検査担当者にその旨を伝えてください

■埋め込んだポートの種類を示したカードの取り扱いについて

当院以外の医療機関にかかる場合に必要な場合があります 紛失しないように大事に取り扱ってください 健康保険証や運転免許証などと一緒に保管すると良いでしょう



ポートを造設したところが退院時と比べて 腫れや赤み、痛みが強く出たとき

上記のような症状がある場合やその他ご心配なことがある場合は、 がん相談支援センターにご連絡ください

◆四国がんセンターの連絡先◆

【平日】 8:30~17:15 四国がんセンター がん相談支援センター (直通番号) 089-999-1114

【平日上記時間外および土・日・祝日】日直/夜間当直師長(代表番号) 089-999-1111

*外来受診日や検査予約日の変更については、 予約センターにご連絡ください

【平日】 8:30~17:15 (直通番号) 089-999-1112

